

令和3年度第4回  
大阪府市公立大学法人大阪評価委員会  
議事要旨

- 1 日時 令和3年8月17日（火）午後2時00分～
- 2 場所 大阪市役所 屋上階（P1）会議室
- 3 出席委員 （会場出席）高嶋委員長、梅田委員、田辺委員、奈良委員  
（ウェブ会議出席）戸部委員、平野委員、吉川委員

4 議事内容

（1）公立大学法人大阪令和2事業年度の業務実績に関する評価について

- ・ 小項目評価が未審議となっている大項目、3-6「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」、3-7「その他業務運営に関する重要目標」、3-8「両大学の統合等に関する重要目標」に関して、小項目評価の審議が行われた。
- ・ 小項目評価の審議後は、事務局より、資料1-3 公立大学法人大阪令和2事業年度の業務実績に関する評価結果（案）及び資料1-4 公立大学法人大阪令和2事業年度の業務実績に関する評価結果（概要）の説明があり、大項目評価及び全体的評価についての審議を経て、評価結果が決定された。なお、最終の評価結果のとりまとめにあたっては、委員長と事務局にて文案等の調整を行うこととなった。

<主な意見>

○「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」に関する評価について

（小項目評価審議）

- ・ 「法人情報の提供」（No.94）に関しては、理事長の裁量経費を使ってFM ラジオ番組等戦略的に予定通り実施しており、評価Ⅱではなく評価Ⅲとしてよいのではないかと。
- ・ 「戦略的な研究広報（市大）」（No.97）に関して、英文プレスリリースの発信件数が昨年度と比較して大きく増加していることを踏まえると、年度計画を上回って実施していると判断できる。今後は、件数の目標をより高く設定することや、研究者一人一人の意識醸成への取組等も含め、海外広報に向けた活動強化を期待する。
- ・ 「市民への広報活動の強化」（No.98）は、140周年サイト等へのアクセス数が目標を下回り、対応する取組についても十分実施しているとは評価できない。

（大項目評価審議）

- ・ おおむね9割がⅢ評価であることから、B評価（「おおむね計画どおり」進捗している）が妥当である。

○「その他業務運営に関する重要目標」に関する評価について

（小項目評価審議）

- ・ 「安全衛生」（No.102）の取組に関しては、府大は学生の健康診断受診率、市大は教職員を対象とした安全衛生管理体制の目標が設定されており、統一されていない。

目標設定にあたっては考慮が必要。計画を上回る取組があるものの、府大の学生の健康診断受診率が未達成となっており、総合的に判断すると、年度計画を上回って実施しているとは認められず、評価Ⅱと判断する。

(大項目評価審議)

- A 評価（「計画どおり」進捗している）が妥当である。

○「両大学の統合等に関する重要目標」に関する評価について

(小項目評価・大項目評価審議)

- 計画どおり実施されており、大項目評価としては、A 評価（「計画どおり」進捗している）が妥当である。

○ 公立大学法人大阪令和2事業年度の業務実績に関する評価結果（案）及び公立大学法人大阪令和2事業年度の業務実績に関する評価結果（概要）について

- 安定的な病院の運営（計画No.61）については、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れたことに伴う空床補償等の補助金収益の確保や診療経費に係る支出の削減等により、前年度と比べて病院収支（当期総利益）が約11億円の増収となっており、年度計画を上回って実施していると評価できる。小項目評価としては、Ⅳとする。
- 今回の業務の評価においては、取組実績が重複する項目があった。また、中期目標と対応しているようには見えない中期計画・年度計画があった。取組や評価については、重複がないよう、また中期目標に対応する適切な中期計画・年度計画の内容となるよう整理をお願いしたい。

以上